

自己評価表

愛媛県立丹原高等学校
(13)

教育方針	人権を尊重し、個性と能力を伸ばす教育活動を展開する中で「生きる力」を育て、知・徳・体の調和のとれた個性豊かな人材の育成に努める。	重点目標	<p style="text-align: center;">生徒一人一人の豊かな学びの実現 —よりよい進路選択と自己実現のために—</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 確かな学力の育成</td> <td style="width: 50%;">2 生徒の進路実現</td> </tr> <tr> <td>3 豊かな心の育成</td> <td>4 「明るく元気」の創造</td> </tr> <tr> <td>5 信頼される学校づくり</td> <td></td> </tr> </table>	1 確かな学力の育成	2 生徒の進路実現	3 豊かな心の育成	4 「明るく元気」の創造	5 信頼される学校づくり	
1 確かな学力の育成	2 生徒の進路実現								
3 豊かな心の育成	4 「明るく元気」の創造								
5 信頼される学校づくり									

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
確かな学力の育成	基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得	<ul style="list-style-type: none"> ○学習習慣の確立 Classi による家庭学習時間の記録 100% ClassiWeb ドリル解答数延べ 4,000 問 ○生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導 個別指導教員一人当たり年間 1,200 分以上 ○ICT を活用した授業の取組 授業時間の 10%以上 ○課外授業の充実 課外授業参加者年間延べ 5,000 人以上 	B	<p>1年 68.8% 2年 70.0% 3年 58.6%</p> <p>3,616 問解答</p> <p>充実した指導を展開している。 質問しやすい雰囲気生徒 80% 個別指導の充実 教職員 95%</p> <p>タブレットでの授業を展開している。</p> <p>土曜補習 1、2年 8回 延べ 560 人 3年 3回 延べ 96 人</p> <p>朝補習 1年 36回 延べ 1,368 人 2年 40回 延べ 1,280 人 3年 50回 延べ 1,550 人 合計 4,851 人</p>	<p>5、6、11 月にはほとんどの生徒が学習時間の記入をしていたが、そのほかの月は限られた生徒のみになった。教員の積極的な Classi 利用の指導と Classi の課題の利用をさせる。</p> <p>ICT を利用した授業の定着が見られた。引き続き取り組みたい。</p>

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
	自己の考えを深化させ表現できる能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○対話的・主体的で深い学びの授業の取組 授業時間の10%以上 ○総合的な学習の時間での課題研究 発表ポスター数40枚以上 	A	各教科とも、問題解決につながる授業の展開をしている。 1年生全員がレポートを作成 各クラスの代表2グループがポスターセッションを実施。 2年生13講座に分かれて研究 19グループがポスターセッションを実施。	中間発表後に研究内容を見直し、深められるよう、年計画の見直しを図りたい。 また、3年生は進路決定後の活動の充実を図りたい。
生徒の進路実現	生涯を見通した人生の設計を行う能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアパスポートノートの効果的な活用 キャリアパスポートノート活用率100% ○早い段階での進路指導の明確化 進路希望未定者数各学年0人 	B	進路講演会や大学・企業見学、総学・総探の研究で全員活用している。 進路未決定者(1月31日現在) 1年4名 2年6名 3年0名	キャリアパスポートの効果的な活用の検証を行い、1年次からの進路指導の充実を図りたい。
	よりよい進路選択を主体的に行える能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な進路情報の提供 生徒・保護者の肯定的な学校評価80%以上 ○就職希望者の職場体験の充実 肯定的な生徒アンケート80%以上 ○より高い志をもった進路選択の実現 就職希望100%実現 国公立大学18名合格 松山大学25名合格 	B	よくできた(A)、大体できた(B)と回答した生徒89% 保護者90% (A)、(B)と回答した生徒75% 就職希望100%実現 国公立大学17名合格 (3月9日現在) 松山大学14名合格 (3月9日現在)	国公立大学15名、松山大学15名を目指したい。 また、7月から自習室が満席になるよう、活用の充実を図りたい。
豊かな心の育成	人間としての在り方の自覚を醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣の確立 1か年皆勤率60%以上 ○生徒の気持ちのよい挨拶 生徒・保護者の肯定的な学校評価90%以上 	B	1年50.0% 2年49.5% 3年64.3% (A)、(B)と回答した生徒85% 保護者95%	継続した基本的生活習慣の確立の指導と挨拶の励行を行っていききたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
	人生をよりよく生きようとする態度の育成	○ボランティア活動等の体験活動の自主的・積極的参加 ボランティア活動参加者延べ 500 人以上	B	さんさん物語 普通科 20 名 園芸科学科 5 名 竹林整備、保育園夏祭り、丹原夏祭り等 普通科 70 名 園芸科学科 10 名 寄せ植え講習会等 園芸科学科 314 名参加 合計 419 名	様々な事業や行事への参加が増加している。また、普通科生徒の参加も増加傾向にある。より一層充実を図りたい。 園芸科学科の寄せ植え講習会などに、普通科の生徒も参加させたい。
	他者への思いやりや感動する心など豊かな人間性の育成	○人権侵害を「しない・させない・許さない」指導 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上 ○学校行事の真剣な取組 生徒・教職員の肯定的な学校評価 90%以上	A	(A)、(B)と回答した生徒 96% 保護者 91% 教職員 100% (A)、(B)と回答した生徒 94% 教職員 98%	引き続き、関連団体との連携を深め、人権・同和教育の充実を図りたい。 生徒が主体的に企画・運営できる学校行事の充実を図りたい。
明るく元気の創造	積極的にチャレンジする心身ともにたくましい生徒の育成	○部活動への加入率の向上と活動の充実 部活動加入率 90%以上 ○積極的な資格、検定試験、コンテストへの応募等の励行 ○より高いレベルの大会の出場 県総体 80 人、高文祭 60 人以上	B	部活動加入率 85.9% 商業関係検定、実用英語検定、フラワー装飾技能士を中心に、148 名の生徒が合格した。 県総体 79 名 高文祭 14 名	部活動の意義や役割を説明し、部活動の活性化を図りたい。 今年度以上に資格試験を励行したい。 県総体 80 名、高文祭 30 名以上の出場を目指したい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
	地域貢献できる生徒の育成	<p>○園芸科学科を核とした地域の方が参加できる事業の充実 菊花展 1,000 人、苗販売 500 人以上 園芸講習会 40 回以上</p> <p>○グローバル G.A.P. 認証を生かした園芸科学科、普通科の生徒の積極的な関与 認証に係る生徒 50 人以上</p>	A	<p>菊花展 1,340 名 苗販売 500 名 (販売件数 314 件) 園芸講習会 30 回</p> <p>普通科 16 名 園芸科学科 24 名 グローバル G.A.P. (ブドウ) を 継続認証できたほか、県 GAP 認 証取得件数 4 品目 (イネ、ダイ コン、ハクサイ、ブロッコ リー) 申請中 2 品目 (メロン、 イチゴ)</p>	講習会などに参加し指導をする生徒の養成と人数を増やし、地域の方々と接する機会を増やすことで、さらに丹原高校の良さをアピールしたい。 普通科生徒にも GAP 認証取得や海外プロモーション活動の企画・準備に係る機会を増やし、学校全体としてさらに取り組んでいきたい。
信頼される学校づくり	教職員自らの資質・能力の向上	<p>○教職員研修の充実 校内研修会 3 回以上実施、校外研修会 参加延べ 40 人以上</p> <p>○組織的な授業改善 授業研究実施 10 回以上</p>	B	<p>校内研修会 8 回実施 校外研修 延べ 60 名参加 授業研修 12 回実施</p>	1 週間程度の相互授業研修、公開授業参観を年 3 回実施し、引き続き授業改善に努めたい。
	安全・安心な教育環境の改善	<p>○教育相談体制の充実 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校 評価 90%以上</p> <p>○校内施設・設備の整備 施設整備実施 30 か所以上</p> <p>○防災マニュアルの適切な運用 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校 評価 90%以上</p> <p>○生徒の自己管理能力の向上と登下校中の 事故をなくす 事故発生件数 0 件</p>	B	<p>(A)、(B) と回答した生徒 91% 保護者 89% 教職員 98%</p> <p>50 か所修繕</p> <p>(A)、(B) と回答した生徒 85% 保護者 94% 教職員 87%</p> <p>事故件数 3 件</p>	校内研修を行い、支援を要する生徒のきめ細かい指導の充実を図りたい。 校舎の老朽化が目立つため、県への要望を行いたい。 安全で安心な学校生活を送れるよう安全意識の高揚を高めるとともに、生徒の防災士の取得を年 3 名にしたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
	積極的な情報収集・発信による開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒健全育成・活性化協議会からの学校改善 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上 ○ホームページによる積極的な情報発信 ホームページアクセス数 1 日平均 500 以上 	B	(A)、(B)と回答した生徒 84% 保護者 88% 教職員 100% 1 日平均 500 件以上	外部からの意見を聞き、学校改善を図りたい。 保護者や地域の方々への魅力ある情報の発信を行い、開かれた学校づくりに努めたい。